

GA327

言語文化演習—スペイン語を使って、スペイン語圏の文化を研究しよう—

大西 亮

配当年次／単位：3～4年／4単位

旧科目名：

旧科目との重複履修：

毎年・隔年：毎年開講 | 開講セメスター：春・秋

人数制限・選抜・抽選：選抜

他学部への公開：×

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

- 1) SA スペインで身につけた語学力の維持、向上を図る。
- 2) スペイン留学で見聞きして関心を持った事項およびラテンアメリカの文化と社会について研究する。

【到達目標】

スペイン語圏の文化と関連したテーマを発見し、「翻訳論」「社会言語学」「社会学」「文化人類学」「サブカルチャー論」などの理論を活用しつつ、研究するスキルを身につける。

【授業の進め方と方法】

学生が主体となって授業を進める。進め方は、学期の始めに話し合っ

て決める。参考までにこれまでのことを記すと、上記1)の目的では、スペイン語によるスピーチ、ディベートなどが行われた。ときにはスペイン語でゲームを楽しんだこともある。上記2)については、各自の研究に関する計画、途中経過などの報告が行われた。また、それとは別に、グループに分れてそれぞれテーマを定めて研究発表も行った。

教員は大まかな道筋を示し、各人の発表、報告についてコメントした。教員による講義形式の授業をしたこともある。

これまでに学生が取り組んだ卒業論文の中からいくつか例を挙げる：

- 「スペインと日本の女性週刊誌の比較—社会的見地から」
- 「スペインのおたく文化について」
- 「スペインのスポーツ新聞で使われる、特殊なサッカー用語について」
- 「スペインのビールについて」
- 「スペインにおけるマリア信仰について」
- 「サンティアゴ巡礼について—一人はなぜ歩くのか?」
- 「バルセロナのエスニック音楽について」
- 「スペイン語、イタリア語、カタルーニャ語版『星の王子様』の比較」

なお、今年度から新たに「ラテンアメリカの文化と社会」が研究対象に含まれることになるので、これに関連する研究テーマも歓迎する。

通常、一年一回の合宿を行っている。

【授業計画】

春学期

回	テーマ	内容
第1回	運営方針についての話し合い	学生による自主的なゼミ運営という基本原則を確認し、具体的な運営方法について話し合う。
第2回	四年生の研究テーマ発表に向けたガイダンス	四年生による研究テーマ発表に入る前に、その前提となる基本的なルールや方法を教員がガイダンス形式で説明する。
第3回	四年生の研究テーマ発表(1)	研究テーマおよび作業の進捗状況について四年生に報告してもらう。また、報告内容に関する質疑応答およびグループディスカッションを行う。
第4回	四年生の研究テーマ発表(2)	研究テーマおよび作業の進捗状況について四年生に報告してもらう。また、報告内容に関する質疑応答およびグループディスカッションを行う。

第5回	四年生の研究テーマ発表に関するまとめ	四年生の研究テーマ発表(1)(2)の内容を踏まえ、その振り返りおよび教員による補足説明、グループ討議を行う。
第6回	四年生の研究テーマ発表(3)	研究テーマおよび作業の進捗状況について四年生に報告してもらう。また、報告内容に関する質疑応答およびグループディスカッションを行う。
第7回	四年生の研究テーマ発表(4)	研究テーマおよび作業の進捗状況について四年生に報告してもらう。また、報告内容に関する質疑応答およびグループディスカッションを行う。
第8回	四年生の研究テーマ発表に関するまとめ	四年生の研究テーマ発表(3)(4)の内容を踏まえ、その振り返りおよび教員による補足説明、グループ討議を行う。
第9回	四年生の研究テーマ発表(5)	研究テーマおよび作業の進捗状況について四年生に報告してもらう。また、報告内容に関する質疑応答およびグループディスカッションを行う。
第10回	四年生の研究テーマ発表(6)	研究テーマおよび作業の進捗状況について四年生に報告してもらう。また、報告内容に関する質疑応答およびグループディスカッションを行う。
第11回	四年生の研究テーマ発表に関するまとめ	四年生の研究テーマ発表(5)(6)の内容を踏まえ、その振り返りおよび教員による補足説明、グループ討議を行う。
第12回	三年生の研究テーマ発表(1)	四年生の発表およびそれに関する質疑応答やグループ討議を踏まえて設定したテーマについて、三年生に発表してもらう。また、その内容についての質疑応答やグループディスカッションを行う。
第13回	三年生の研究テーマ発表(2)	三年生の発表およびそれに関する質疑応答やグループ討議を踏まえて設定したテーマについて、三年生に発表してもらう。また、その内容についての質疑応答やグループディスカッションを行う。
第14回	三年生の研究テーマ発表に関するまとめ	三年生の研究テーマ発表(1)(2)の内容を踏まえ、その振り返りおよび教員による補足説明、グループ討議を行う。
第15回	夏季合宿計画策定	充実した夏季合宿実現のため、ゼミ生による話し合いおよび準備作業を行う。

秋学期

回	テーマ	内容
第1回	夏季合宿の振り返り	夏季合宿での活動を振り返り、その内容について補足的な説明を教員が行い、それを発展させるかたちでグループ討論を実施する。
第2回	後期ゼミ活動内容の設定	学生による自主的なゼミ運営という基本原則を再度確認し、後期の具体的な活動内容について全員で話し合う。
第3回	ラテンアメリカ文化概論(1)	学生にはあまりなじみのないラテンアメリカの文化と社会について、その前提となる概論的な説明を教員が行う。
第4回	ラテンアメリカ文化概論(2)	前回に引き続き、学生にはあまりなじみのないラテンアメリカの文化と社会について、その前提となる概論的な説明を教員が行う。

- |        |                               |   |
|--------|-------------------------------|---|
| 第 5 回  | 「ラテンアメリカの文化と社会」に関する発展的な学習 (1) | ラテンアメリカ文化概論 (1) (2) の内容について振り返りを行うとともに、グループディスカッションを通じてさらなる理解に努める。        |
| 第 6 回  | 「ラテンアメリカの文化と社会」に関する発展的な学習 (2) | 第 5 回目の内容を踏まえて、今度は学生による発表を行う。その後、質疑応答や集団討議を通じて理解を深める。                     |
| 第 7 回  | 「ラテンアメリカの文化と社会」に関する発展的な学習 (3) | ひきつづき学生による発表を行い、質疑応答や集団討議を通じて理解を深める。                                      |
| 第 8 回  | 国際文化情報学会の発表に向けた準備 (1)         | 国際文化情報学会への参加を前提として、学生の主体的な取り組みを最大限に生かすための具体的な方針を全員の話し合いによって決める。           |
| 第 9 回  | 国際文化情報学会の発表に向けた準備 (2)         | 前回の話し合いの成果を踏まえ、発表内容に関する具体的な詰めの作業を行う。                                      |
| 第 10 回 | 四年生研究発表 (1)                   | ゼミ活動の総括ともなる研究成果の発表を行う。発表内容に応じて教員による補足説明やグループ討議を行う。                        |
| 第 11 回 | 四年生研究発表 (2)                   | ひきつづき、ゼミ活動の総括ともなる研究成果の発表を行う。発表内容に応じて教員による補足説明やグループ討議を行う。                  |
| 第 12 回 | 四年生研究発表 (3)                   | ひきつづき、ゼミ活動の総括ともなる研究成果の発表を行う。発表内容に応じて教員による補足説明やグループ討議を行う。                  |
| 第 13 回 | 三年生研究発表 (1)                   | ゼミ活動の総括となる成果発表および次年度の研究に向けた方針を三年生に報告してもらう。発表内容を受けた質疑応答やディスカッションも行う。       |
| 第 14 回 | 三年生研究発表 (2)                   | ひきつづき、ゼミ活動の総括となる成果発表および次年度の研究に向けた方針を三年生に報告してもらう。発表内容を受けた質疑応答やディスカッションも行う。 |
| 第 15 回 | 研究発表の振り返りおよび総括                | 三年生、四年生の研究発表の内容を振り返り、確認作業および反省点の洗い出しを行う。                                  |

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】**

各自のテーマに沿って参考文献を指示するので、それをきちんと読むこと。スペイン語の研鑽に努めること。

**【テキスト（教科書）】**

随時指示する。

**【参考書】**

随時指示する。

**【成績評価の方法と基準】**

研究発表 70 %、準備や発表スキルを評価。ディベート 30 %、準備、積極性を評価。

**【学生の意見等からの気づき】**

スペイン語運用能力のさらなる充実を図る。学会発表という具体的な目標を持ってグループ研究をする。

**【学生が準備すべき機器他】**

特になし

**【その他の重要事項】**

(1)SA スペイン修了程度のスペイン語力が必要。DELE でいえば B1~B2 レベル。

(2)「スペイン語上級」をあわせて受講することが望ましい。